

幼兒教育

第十二卷第一十號

大正十年十月五日發行

目次

神童と幼児教育	吉田熊次
子供の教養	北 豊吉
子供は心を正直に體を丈夫に	松本蓮子
日本聲話學校	畠 足子
子供の歌について	外山國彥
贊育會の近況	河田 茂
三崎會館託兒所	保坂 ひろ
古川橋保育所について	勝久井妙
東京感化院の此頃	又
小澤會報	土田行學

日本幼稚園協會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之ば初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩難致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さい。向後萬一御不納久しきに至ります場合は乍遺憾雑誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割增)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十年十月十二日印刷
大正十年十月十五日發行

東京市外千駄ヶ谷原宿三百四番地
編輯兼發行者 黒瀬

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印 刷 者 柴山則

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印 刷 所 合資 杏林舍

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

幼兒教育

第二十一卷

大正十年十月十五日發行

神童と幼兒教育

文學博士 吉田熊次

高知市の某小學校の尋常三年生に吉田豊道と云ふ神童が居る、といふ事を東京の或る新聞で讀んだ事があつた。此の夏ちょうど高知に參つたので、其の小學校長に逢つて、吉田豊道と云ふ生徒の事を聞いて見たが、如何にも驚くべき智能を有して居る。といふくわしい報告を得たのであつた。尙ほ此の生徒

に就いて、學校に這入る迄にどんな家庭教育を受けたか、殊に母親はどう云ふ注意をとつたか、といふ事等くわしく聞きたいと申した所、校長さんは色々周旋してくれて、母親と生徒とを私の宿まで、連れて來てくれた。

そこで、どんな本を讀んだか、と兒童に聞いて見たら何とも答へないので、「名前を云つて御らんなさい」と云つたところが「澤山あるから」と云ふ答であつた。それぢや、「幾冊ほど持つてゐますか」と尋ねると、歴史に關する本と雑誌とを合せて七十八冊、地理に關するものは五十二冊、其他のものは字引等を加へると百七十二冊ある、その中の凡そ三分の一

は小學校入學前に讀んだ、といふ事であつた。尤も、この兒童は、歴史地理に最も多くの興味を有してゐて、東西の偉人の傳記や物語、そんな事に關する雑誌を非常に愛讀してゐた、いかにもこれだけ讀めば、尋常小學校卒業以上の讀書力は充分得られる、といふ事は明らかに考へられた。

今度は、母親に向つて、「あなたはどう云ふお心持でこのお子さんをお育てになつたか」と尋ねて見ると、母親の答へは次のやうであつた。母親は現に其の市の或る病院の看護婦をしてゐて、父親はこの兒童が七歳の時に亡くなつてしまつた。父親は長く病氣をしてゐたので、主として母親がこの兒童の教育にあつたのである。母親が此兒童を教育するにあつりて、特にいちじるしい教育上の意見としては有していないが、「子供には心配をさせない。子供を苦しめてはいけない」と云ふ事を絶えず頭に置いてゐた。子供がいやな思ひをさせられたり、叱られたりする場合は、非常に精神を苦しめるわけになつて、これが爲め子供の脳を無駄に働かせる事になる、それ故、出来るだけ無駄をさけて、悪い方面でなければ、なるべく子供の好む方面に子供の頭をつかはせるやうに

したのであつた。母親は此の兒童を殆んど叱つたりする事なく育てゝ來たが、三歳の折常々してはならぬと云つて居つた事をしたので、此の兒童を初めて叱つたので、大いに泣き叫んだ、常に泣き聲を聞いたことのない近所隣の人々はどうしたのかと心配してくれたといふ話もある。悪い事でない限りは子供の自由にまかせ。尤も子供が一方にのみ偏して興味がもいた時は、それとなく轉じさせるやうにし、「してはいけない」と云つた事はないさうである。子供の心の働きを少しも無駄に使はせない、子供の好むままにさせ、子供の頭脳の働きの全部は、何等かの結果を子供に残させるやうに、母親は心掛けてゐたやうに思はれる。これは教育法として面白いものと思ふ。

ちょうど其の坐に、古く大學を出られた大八木と云ふ理學士の方が居られ、とくに希望してこの様子を見て居られたので、其方が次のやうな質問をされた。「そのやうに子供の自由にまかせて置くなら、他の子と遊ぶ時に我儘をしないか、學校等で他の生徒と仲よく遊ぶ事が出来るか」と云ふやうな事を尋ねると、母親の答は、「學校の事は自分にはわからない

が、家庭では他の子と遊んで我儘するやうな風が見えない、尋常三年にもなつてゐるが、赤んぼのやうに極めて無邪氣な者と遊んでゐる。これは家庭でいぢめられたり叱られたりする事がないので、赤んぼと同じ無邪氣さを持つてゐるやうに思はれる」といふ話であった。又其の坐に居られた校長さんも言葉を加へられて「學校に於て他の生徒と折合の悪いやうな事はない。活潑にあはれることはしないが仲よく遊んで居る」と云はれた。この話は私は面白い事と思ふ。

これは私の理屈の上から云ふ事かも知れないが、かふ思ふのである。子供に我儘とか、ひねくれるとか云ふのは、子供自身でそんな癖をつけるものではない。ねちけたことをして見せるか、さうでなければ子供をしてそんな癖をつけるやうに、側でしむける、例へば、我儘をする癖をつけるしむけ方としては、わきの者が子供にへつらて子供の機嫌をとつてやる。或は子供に別に禁止しなくてすむ事を禁止して置いて、然も中途から其禁止を破つてしまつて子供の我を通らせる、といふやうな類である。子供は自分の好む事が常に満足させられるといふ事であれば

わきに居る人々の好む事にも子供は自然と従ふものである。言ひかへれば子供は自分の云ふ事もわきの人があ聞いてくれるから、他の人の云ふ事も自分がきかなければならぬと、子供は思ふやうになる。子供の好む通りにさせる事によりて、我儘であるとか、ひねくれるとかはせぬものだ、と私は信じてゐるのであるが、此児童の實際はやゝ私の意見を證明してゐるやうに思はれて、興味ある事を考へたのである。思ふに、吉田豊道といふ児童は、生れつき極めて智能の鋭敏な子供であつたのではないかと思ふ。母親の話された事に依ると、生れてから十四五ヶ月位の頃、言葉も話せない時から、よその店にある看板を見る事が好きであつた。これは言葉こそ話さないが、児童自身では其の看板を讀んで覚えて居つたのではないかと思ふ。その前を通ると、児童は喜んでその方へゆきたがつたさうである。これは小さい時から文字を讀んで居つたのであらう。又トランプ位の大きさの相撲取りの繪を描いたのがあつて、相撲取りのまほしに名が書いてあるだけで、繪は皆同じものであるのに、一々其を區別してゐたと云ふのを見ても、文字が解つたのであると思ふ。

母親の話では初めは漢學を覺え、それから假名を覚えて行き、小さい時から、讀むのが好き、又讀むのを聞いてるのが好きであつた。この兒童の文字に對する興味を利用して、心配させないやうに、脳を無駄に使はせぬやうにして、兒童の脳を全部を此の方面に向けたから、學校に入る前に、既に尋常三四年生の讀む本を讀んで居り、又他から教へてやつたのである。此の兒童は天性智能のすぐれてゐたのを、母親の注意で有效に開發したのである。母親の云ふには、決してわきから無理に教へない、例へば鳥の繪が描いてある傍に「鳥」と云ふ字があつても、子供が何だと聞いた時に初めて鳥と云ふ字であると教へてやつたと云ふ。子供の要求する物にこちらも應じて教へてやるのであるから、教へることも無駄にはならない。

神童と云はれるのは、天性もあらうが、その天性を充分に發達させる教育の結果もあるではないかと思ふ。この兒童の體質は見ただけでもよくない、學校でも内であるといふ。別に病氣をもつてゐるといふ事はないが、顏色等も青白く多少神經質らしく見えるから、神經過敏も加つて居ることゝ思ふ。なに

覺えて行き、小さい時から、讀むのが好き、又讀むのを聞いてのが好きであつた。この兒童の文字に對する興味を利用して、心配させないやうに、脳を無駄に使はせぬやうにして、兒童の脳を全部を此の方面に向けたから、學校に入る前に、既に尋常三四年生の讀む本を讀んで居り、又他から教へてやつたのである。此の兒童は天性智能のすぐれてゐたのを、母親の注意で有效に開發したのである。母親の云ふには、決してわきから無理に教へない、例へば鳥の

繪が描いてある傍に「鳥」と云ふ字があつても、子供

が何だと聞いた時に初めて鳥と云ふ字であると教へ

てやつたと云ふ。子供の要求する物にこちらも應じ

て教へてやるのであるから、教へることも無駄には

ならない。

しろこの兒童は智能に於ては全くすぐれてゐることは疑はざる所である。今後どのやうに發達するか解らないが、とにかく神童とか天才とか云はれる子供にしても、幼兒教育上の注意がゆきとゞかなかつたら、今日の如き成績を上げ得なかつたと思ふ。例へど云ふものは、大なるものである事が、この神童を見つけて、つくづく感じさせられるのである。

こども愛護宣傳デーの標語

大阪市教育部子供愛護宣傳デー當日に於ける標語を懸賞募集してゐたが審査の結果左の如く発表された。

愛せよ 敬せよ

強く育てよ

こども育てよ

先づ眞直にまんまるに

自然と自由は

こどもの生命

(同)

目玉でおどすな

笑顔でさとせ

打つな叱るな

甘やかすな

(同)

小言の雨は

こどもの心をしめらす

(同)

子供の教養

文部省衛生課長

北 豊吉

別にまとまつた考へも持つてゐないが、常々私が心に浮んでゐる一二を申上げよう。私は職業上學校衛生の見地から、幼兒の教養に就いては大なる注意を拂ひ、努力せねばならぬ事を見出してゐる。

學校衛生と云ふと、小學校に入つてから後の問題のやうに考へてゐるのは、過ちである。凡そ人間の身體を強健にし、精神の發育を完全にするのは、年若い者程必要な事であつて、又其の效果も大きいのである。發育の完成した人間や、殆んど健康の下り坂になつてゐる人間にも、衛生的注意は勿論必要であるが、むしろ此の場合には保護するにござつて、折角投じた努力も左程著しい效果はないのである。

か様なわけで、私は大學生にも學校衛生の努力は必要であるが、それよりも高等學校の學生、高等學校よりは中學生、中學生よりは小學兒童、幼稚園兒童により以上の必要があると思ふ。幼兒の間の衛生獎勵といふ事は最も必要である。

單に學校衛生と云はず、日本人のすべての衛生が、今迄は幼兒より大人に力を入れたやうな傾きがある。これはおそらく衛生事業が發達しなかつた爲め、目前に多數に出來事の起る大人の仕事に注意が向けられ、子供には及ぶ暇がなかつたのである。之をちょうど家庭で云つて見れば、いつも借金の利子に追はれて、元金を返却する暇がないと同じ事で、誠に損な事である。將來に於ては衛生は年若い者程

必要である、といふ事が次第に了解されてくるだらうと思ふ。

私がか様に思ふのみならず、内務省あたりの仕事も乳兒、幼兒の問題がぼつゝ取扱はれるやうになつた、又赤十字社の事業も以前は戦争や兵隊に關係した事のみであつたが、近頃は児童問題にも注意が拂はれ、先年の國際聯合會に於ても、児童の教養に力を盡すといふ決議がある。本邦に於ても赤十字社の事業が此の方面に活動し、今年の夏は各地に夏季聚落の事業が催されたやうで、我々も大いに喜んでゐる。

さて、子供の教養に注意することなると、餘り色々の事を無暗とつぎ込む傾向になりやすいのである。放任して置く時には放任しておきながら、いざ手をつけ出すと色々の事を無暗とやつて見たくなる。これは人情として、熱心になると其の事が、色々の知識をつぎ込み、色々と體の世話をする事になるが、其處に理解がないと、子供の發育を束縛したり、子供の激測たる精神をかへつていぢけさせたりして、子供にこつては甚だ迷惑な事になりやすい。この點は非常に注意を要する所である。

殊に甚だしいのはどことこの評判のよい小學校へ入學させるとか云つて、幼稚園で試験準備をする所はありはしないか氣を揉む。そんな事では子供の爲に遺憾に堪えぬのである。此頃の世の中は、社會的競争の爲に困難を感じて居るので、せめて幼兒だけもこんな社會から離して置きたいものである。

以前或る幼稚園に行つたところ、或る先生が五位の子供を集めて蜜蜂の話をしたのを見た事があつた。蜜蜂の團體生活は、御存じの通り、規律正しい巧妙なものであつて、其を幼稚園の子供にわかれさせるやうに説明するのは困難な事と思ふ。その先生は熱心に幼兒の利益を考へて教へて居られるだらうが、五つ位の幼兒が蜜蜂が、どんな組織で團體生活をしてゐるか、女王とは何の事が全く理解がなからうと思はれる。然るに、その先生の話には、蜂の集つてゐるのを群蜂と云ふとか、雌蜂と雄蜂があつて雌蜂が女王になつてゐるとか、色々なむづかしい言葉があつた。又或る幼稚園では、何々附屬小學校に入學するにはこれ／＼までの算術が出来なければならぬ、かう云ふものが出來なければいけない、と云うて、學科の教授までしてゐる所がある。私はか

やうな幼稚園に子供をやるよりも、野原へはなして遊ばしてやつた方がよいと思つた。

よく小學校へ這入る前に、教科書が讀めるとか、字が立派に書けるとか云ふのを、自慢のやうに思つてゐる人があるやうだが、之はあやまりである。多くの學者の意見による、小學校入學前に少しも讀書算術をやらせないでも小學校に於て決して悪い成績をとらないさうである。

これは智育の方であるが、體育の方で云つても運動をさせる事はよいが、殆んど大人のやるやうな運動の名前を教へ、マラソンとか、何々競争とか名をつけて、盛んに獎勵してゐる。これも改めなければならぬ。子供の時には運動は子供等の自發にまかせて、其の本能に従つて、愉快に飛びまわれば充分なのである。組織だつた遊戯を課するのはよいが、餘りこみ入つたものがあつてはならない。とくに大人の考へる事であるから、大人にとつては簡易だと思つても、子供には難問題と感せられる事が多いのである。

以上は幼兒の教養に就いて弊害と認められた點を一二あげたのであるが、此處にお斷りして置きたい

のは、幼稚園、或は幼兒教養者の總てが、斯様だとは思はない、中にはこんな心配の不必要な立派な教養者のある事を信じてゐる。多數の人は立派でも、少數でもかかる人はありはしないかと一寸述べたのである。

要するに、幼兒の教養は大事であるが、さればとて老婆心から干渉し過ぎ、束縛し過ぎぬやう、注意せねばならないと思ふ。

日本幼稚園協會十月常會

別項豫告の通り、來る十月二十二日（土曜日）午後二時から、東京女高師附屬幼稚園に於て、東京高師教授綿貫哲雄君の「歐洲諸大陸における社會的實驗の一」を題する講演があります。氏は社會學研究のため三年餘歐米に遊ばれ、最近歸朝されました方で、特に本會の請を容れ、獨、塊、伊、白よりバルカン地方に到る社會事情につき、ここに子供の狀態についてお話を下さる筈です。多數お誘ひ合せ御來會を歓迎致します。

子供は心を正直に體を丈夫に

文學博士夫人 松 本 蓮 子

私共には只今日白女子大學に在學中の娘を頭に下
は三歳になるのまで、八人の子供がございます。育
兒法などと今時の新しい學理は少しも存じませんも
ので何も皆様の前で申上げるやうな事はございません
が、八人も育てゝゐる上から、何かご日常氣にさ
めた事でもお話し致しませう。

長女は今申した通り女子大學で、次は今年水戸の
高等學校に入學致しましたし、其下はお茶の水高等
女學校に、他は大塚高等師範附屬に、末の二人だけ
が未だ學校にゐるらず家庭に居ります。長女は、私
共が大正二年まで京都に居りましたので、其處で小
學を終へました。只今は大分様子が異つて居りませ
うが、其の時分の京都は女學生の姿等も、日和下駄
等をはき、東京とはくらべものになりませんので、
奥様方は「女學生もあんなでは小間使ひみたいでい
やでござりますね」、等とハイカラな方は云つて居ら
れる程でございましたから、どうかして女學校は教

育の進んでゐる東京でさせたいと望んで居りました
が、ちやうど上京するやうになりましたので、宅か
ら近い竹早町の高等女學校に通學させるやうになりました。それから女子大學に進ませたのでございま
す。

長女の方はさほど育てますのに苦心も入りません
でございましたが、古今水戸の高等學校に居ります
長男は、身體が餘り健康でなかつた爲、一方ならぬ
心配を致しました。小學へ入學しましてから尋常三年
頃までは、何ご申しますのか、學校へまゐります
と頭痛がして顔色が悪くなり、又一週間に一度位は
朝飯に頑いたものがその儘消化されずに通じたりす
ることがありまして、學校で勉強するのは好きなの
でございましたが、こんな體具合で常に缺席がちで
ございました。お醫者に見せますと、脳に少く故障
もあるやうだし、又胃腸も弱いと云ふ事で、私も心
配は隨分致しました。それで夏休みには、身體の方

を氣づかひながらも、遅れたところの補習で大變でございました。しかし三年生頃になりますと、年齢も進み體も整つた爲か、次第に健康になりますと、後になつて偏桃腺を手術しましたので脳もよくなりました。身體がこんな風でございましたから、氣性も幼い頃は沈んで居りましたが、身體が健全になるにつれまして快活になり、京都から東京に移りましてからは、東京の學校が京都等よりはいき／＼としてゐたためもありませう、大變丈夫に快活になりました。只今はもう十八でまづ普通にすゝんで居りますものゝ身體の虛弱な子を學校を一度も遅れさせずに注意しながら育てますのは、可成り苦心なものでございます。

子供達の中で幼稚園に御厄介になりましたのは、餘りございませんが、私自身の考へこしましては矢張り幼稚園に通學させました方がよからうご存じます。宅の子供は、近頃幼稚園の入學者が増しましたのでくじ引きにもれましたし、又考へて見れば家庭そのものが幼稚園のやうにぎやかでござりますから、遊び友達もありますので、つひ其の儘になつてしまひました。兄妹のないお宅とか、或はお子さん

の御性質上大勢の中に交らせた方がよい場合には、幼稚園ほど結構な所はございません。こんなわけで、家では別に學科の豫習復習に先生をお願ひしませんでも、兄妹同士教へ合つて入學試験の準備等をして居ります。長女が幼い折等は、私自身が色々と學習を見てやつて居ましたが、此頃は忙しいので少し注意してやりたいと存じましても、一向出來かねて居ります。其の代り兄さん姉さんの先生が澤山出来ましたので、子供達にまかせて居ります。私共では子供は身體の健全を第一と心掛けて居ります。それで學業の成績にも餘り干渉しませんし、又他様のやうに學校以外のお稽古も餘りさせませず、長女が女學校に居りました當時、音樂學校の久野先生からピアノを習はせて居りましたし、又其下の妹どもには近所のお琴の先生に通はせて置きましたが、それさへ身體がよくないやうですから、やめさせて居ります。毎年夏には、海岸につれてゆきまして海水浴をさせる事に致して居りましたが、今年は海水にもあまり入れず、海岸の空氣のよい所で、樂に暮らせました。それは今年の二月頃、猩紅熱を長女がわづらひますと、運悪く五人の子供に傳染しまして、ぞろ

りと大學病院に入院しました時は、ほんとに驚きましてござります。幸ひにも皆丈夫になりましたが、こんなここからおち氣が立つて、今年は餘り海水にも浸しませんでした。庭には機械體操の道具を据ゑて使用させるやうにしてをります。庭と申しましてもまことに狹うございますが、家屋をまるくとりまして居りますので、子供等は走るのに便利でござります。以前は、日曜にはよく連れ立つて郊外散歩に出たのでござりますが、このごろでは主人も私も忙しいので、出来なくなり、兄妹同士つれだつて行かせようこしましても、上の者が學校が忙しいのでつひお流れになりまして、中々實行の出来ないのを殘念に思つて居ります。

身體の健全と同時に、正直に子供達の心を導きたいと思ひます。日本の社會が西洋に比べまして元來不正直な所が多く、従つて日本の家庭でも色々と不正直な事が行はれてゐます。子供達もそんな空氣に觸れて不正直な育て方をされて居ります。これを私は非常に嘆はしい事と思つて居ります。私共は、極めて放任主義に致しまして、無暗に叱つたり、禁じたりせず、大抵の事は子供にまかせて居ります。その代り、正面に振舞ふやうにさせて置きます。外に

あらはれます行儀作法等の形の上の事におきましては、他のお子さんはくらべものにならぬほど仕込みがございませんが、心がかけひなたになつたり、ねぢつてゐたりはさせない積りで居ります。心さへ正直であつたら、形の上の事は大人になるにつれて出来ようと思つて居ります。餘り子供を束縛し過ぎて、これもするな、あれもするな、と云つて居ります。兄弟の多い爲か、小學校等でよく天長節等の式日に下さるお菓子でも、自分だけこつそりと食べるといふ事はなく頂いてくれば直ぐ其の事を話し、一口位に小さくなるまでわけ興へまして、お母さんにも、食べても食べないでも變りない位のお菓子の片を持つてまゐります。之もつねから正直といふ事を教へてゐるからかと存じて、いつまでもこの心を失はなければよいと思つて居ります。

子供を正直に育てるといふ事で、一寸つけ加へて申し上げたいのは、召使ひに對しても同一の心掛けで居ります。召使ひも無暗に自由を束縛し干渉しますと矢張り表裏が出まして、私共の前ではよく見せかけて、外へ出てはひどい事をやるのが多いのですが、これも子供の教育と同じ考へで、自由を與へ同情を有つて接してやれば、心持が正直になりますが、これも子供の教育と同じ考へで、自由を與へ同情を有つて接してやれば、心持が正直になります。召使ひにも「正直」といふ事を常に申し聞せて居ります。

日本聾話學校

保姆主任　畠　足　子

「啞の幼稚園」と俗に呼ばれて居ります私共の學校

は、牛込矢來町の福音教會の建物を拜借して、大正九年五月に開校されたのでございました。「日本聾話學校」と云ふ名のやうに、啞の子供に話す事が出來るやうに教育しようと云ふ目的でござります。日本では啞と一概に申しますと、耳が聞えぬために、話が出來ないもの、即ちつんぱも、耳が聞えてても話が出来ないものも、啞と同一に取扱つて、聾啞と云つ居りますが、私共の方は、耳が聞えない爲に發音が出來ない子供即ち聾に全く最新式な發音教育をさづけるのでありますて、耳が聞えても口をきく事の出来ない啞の方は未だ手を出して居りません。私共の學校では、目下日本に於て最も進歩した教育法を用ひてゐる事と思ひます、なぜならば、これはアメリカに於ても極く最近に始められた發音教育を採用致して居るからでございます。

只今毎日通學して参る子供達は、男女合せて四十

人で、年齢は六歳から十二歳位まででござります。

規則としましては、三歳から十歳位までの兒童に幼稚園教育を授けることにして置きましたのですが、三四歳から不具者をよそへ出してやるといふのはいかにも可愛いさうだとか、或ひはかたわな子供をはぢてなるべくかくして置かうといふ親心から、つひ年齢が遅れて六七歳になつてやつと此處へ通學させてよこすと云ふ風です。私共から考へれば、年齢が少なければ少いほど、教育の効果が速かにあがるので、ぐづくして家庭で心配するよりも、思ひきつて通學させて頂いた方が、どれだけ嬉しいかわからぬのでございます。

兒童教育にあづかつて居られる先生方は、校長神學博士ライシャワー氏及び夫人、ミス・クレーマー、神學博士モーリー氏外に私共日本人の保姆が五人居ります。このライシャワー博士夫妻が、實にこの聾話學校を設立する上に多大の努力をして下さいまし

たのです。博士夫妻には、御氣の毒にも聾のお嬢さ

んがお生れになりましたので、御心配も一通りでな

く、今から三年前お嬢さんが三つのお年に、米國へ

わざ／＼御歸國なさいましたて、其當時發音教育を施してゐる聾の幼稚園にお嬢さんを入學させました。

そして夫人自らも發音教育の方法を親しく研究なさつて、學校と家庭と兩方で一生懸命なさいましたので、幼稚園で三年間教育をうけて再び日本へ歸られましてから、お嬢さんは今年七つでいらっしゃりますが、大層發音もお上手で普通の人と變つた事がなく、只今は他の外國人のお子様の通學して居られる學校に御勉強中です。この尊い御經驗から、日本にある可愛いさうな聾の子供達にも、御自分のお嬢さんが受けられたやうな發音教育を受けさせたいと云ふ御同情から、色々と盡力されました。又どもりを矯正する樂石社の主事村上求馬氏もこの事業に加はつて、始められたのが、この日本聾話學校でござります。クリスマスの折等、赤いサンタクロースのお爺さんの靴下やお菓子がぶらさがつたクリスマス・トリーを飾つた下で、ライシャワー博士のお腕に嬉しきうに抱かれてゐる美しいお嬢さんを見ますと、

私共は心からの感謝にあふれます。

發音教育と申しますのは、今迄のやうに聾の教育に使用されて居ました手真似で話す事を教へたり、或はA、B、Cを手の指で表して話したりすることは、斷然とさけまして、最初から聲を出して發音させる事を練習するのです。アの音は口を開くとか、オの音は口をつばめるとか、先生と子供とは鏡の前に坐つて口の格好を示して練習させるのです、又咽喉、頬、鼻等が、或音を出す時に、振動するものであります。それ故手で一々咽喉を觸らせてみて、これは何の音であるか等と云ふ事を教へます。發音學の科學的基礎に従つて、嚴密に練習させて、個人教授を致します。普通なら幼稚園へ行つて砂いぢりや鬼ごっこ等して遊び暮してゐる年頃の子が、朝から午後二時頃まで毎日五時間といふ時間を發音の練習に費すのでありますから、子供自身に對しても全く可愛いさうな氣が致します。しかし、飽きをふせぐ爲に、面白い手藝をさせたり、遊戯をさせたりすることは勿論であります。お暇がおありでしたらどうか一度參觀にお出で下されば、發音教育の實際も御解りにならうと思ひます。

五十音が發音出来るやうになれば、それを組立て言葉を表す事が容易になります。「御飯が食べた」と云ふ事を云ひたいと子供が思へば、ゴの發音はどうして表すか、ハの發音はどうか、ンの發音がどうかと考へて見れば、おぼろげながら言ひ表す事が出来ます。其を度々練習すれば、其中には速かに自然らしく發音が出来るのです。それを、初めはたやすく言ひ表はせないので、お盆と云ふ代りに手で圓い形をして見せたり、又家庭で母親の袖をひつぱつて連れて来ては自分の望む事をわからせたりするくせがあるので、私共の袖をひつぱつたりしますが、そんな事をした時は、可愛いさうだと思ひますが、爲になりましたから、言葉で表す迄知らん顔をして居りますと、遂ひには言ひ表します。

又耳がきこえませんので、目の働きが敏くなるのは驚くほどです。聾が他人が何を云つてゐるかは、口の格好でちやんと言葉を讀むのでござります。この練習は、發音の練習と共に自然に了解されて参ります。「窓を開いて下さい」等と私が申しますと、私の口を一心に見てゐて、直ぐ解つて、さつさと窓ぎわに行つて窓を開いて来ます。先日も蟬々と騒ぎたて

るので何處にあるのだらうと見ますと、青桐の幹に蟬がさまつて居りましたのでございますが、私共の目には木のふしとしか見えませんのを、子供達には直ぐ蟬だといふ事がわかります。これも目がさとくなつた一例でございませう。

私共の學校に通つて来ますのは、色々の家庭から集つてゐるのであります。昨年開校當時でございましたが、軍人のお父さんがお二人の姉妹を毎朝のやうに送つていらつしやりました。此處のお宅では、この二人しかお子さんがおりにならないのに、しかもかう云ふ御様子なので、お母さんは氣にやんで強いヒスピリードにかられてしまつたのです。ほんとにお氣の毒に堪えません。それで毎朝お父さんが二人のお嬢さんを送つて來られるので、「今日も役所を休んで来ました、どうぞよろしく願ひます」等と元氣につしやるのを聞くと、お心の中までも考へられてお氣の毒でなりません。又これは横濱に住んでゐるお子さんですが、この學校のあるといふ事を聞きつけてはるばる横濱から通つて来るのです。先達お母さんがわざ／＼學校へ來られての話に、一年教育受けたおかげで、「お母さん、雨が降つて来ました」と學

校から歸りに家にかけ込んで來ながら、すら／＼と言へたので、非常にうれしくて御禮に來たといふのをございます。かうした親の心づくしを見ますと、私共もどうかしてこの事業を盛にしたいと思つて居ります。

生れながらにして聾である子供、又脳膜炎や中耳炎で聾になつた子供等いろいろあります、必ずしも後天の方が先天的よりも教育的效果がよいと云ふ事もありません。個人／＼のたちによるのでありまして、大變よく發音を覺えるのもあれば、いくら私共が力を入れましても遅れるのもあります。しかしそ五歳位まで普通の状態で育つたお子さんが、急に聾になり、その中に言葉も自然に忘れてしまつたと云ふお子さんは、一度人の聲を聞き、又自分でも發音した経験があるので、遠くへ忘れられてゐたものが教育に依つて呼びもどされるのですから、かう云ふ場合は教育がし易うございます。又同じ後天的聾の場合でも、ひどい脳膜炎にでもかゝつたといふ時は、その爲腦そのものに故障を生じて居りますから、低能児と同じに、教育がむづかしくなります。全く個人の問題になります。

聾も教育しないで置きますれば、低脳児と同じ事になり、犯罪性に傾き易くなります。又聾と云つても、中々頭脳の明瞭なものありますから、かう云ふのは教育したならば幾分でも人ご生れての責任や喜びを味はせる事が出来ます。又聾啞の人人がその儘で發聲をしないと、呼吸器が使用されないため弱つてしまつて、健康を害します。これが聾啞の人に死亡率が多い原因となるのであります。私共の學校は開校以來未だ一年半も立ちませんに、四十名の生徒の中から三人も亡くなつた者を出して居ります。それですから、一は社會の一員として活動させる爲に、一は健康を保せる爲に、聾啞の教育はます／＼盛にしなければなりません。聾啞の児童の生れる原因は、多くは近親結婚や、聾啞同士の結婚によることが多いさうで、聾啞同士は聾啞教育の盛になるにつれて互に接することが多くなり、同情し合ふ事が多くなつて、遂に結婚してしまふのがあります。何とかして聾啞同士の結婚をさけるやうにし、他の人々も同情を以て交際し合ふやうにしたいものです。私共の學校は、修業年限が三ヶ年で、更に小學部中學部と設けたい考へで居りますので、早く職業につかせた

い等と考へる親達には、發音教育は長過ぎ、まだる
こいやうに思はれるかも知れませんが、この教育を
續けて行きますと充分に話しました聞きわかる事が出
来るのですから、子供達にどうてはその幸福は大し
たものだらうと思ひます。

聾に限りませんが、不具な子供は十四五歳になつて
色々の事が解り始める頃になるご、自分の不幸を今
更のやうに嘆き悲しみ、精神上にも暗い影がさし、
容貌にも何ごなくあわれな様が見えるものですが、
この學校に通ふ聾の子達は年も少いので、いかにも
無邪氣に晴れやかに見えます。私共も一生懸命にな
つて、大人になる迄は、教育の效果を全うし、暗い
影をこりさつて、幸福な生涯を造らせたいものと常
に希望して居ります。

會告

本會では從來、會費の拂込を前金の方法でな
く、御入會ごとに、先づ雑誌をお送り申上
て、半年毎に後から納めて頂いて居りました。
しかるに會の發展にともなひ、會務の整理上い
ろ／＼不便を感じますので、この際、全部前金
納めの方法に改めたいと存じます。就きまして
は、甚だ恐入りますが、来る十二月に例の通
り、市内は集金郵便により、地方はハガキを以
て拂込をお願ひ申上ます節、特に今回は一ヶ年
分納めて頂きたいのでござります。されば、
明年一月より六月迄、半年の前金を願ふことが
出来ます譯です。尙、既に前金御拂込の方も多
數ございますが、何卒、皆様におかせられては、
この旨御諒察下され、此後益々本會のために御
援助下さるよう御願ひ申上ます。

大正十年十月

子供の歌に就いて

外山國彦

近頃、童謡などと云ひまして、子供の歌が澤山作られるやうになりましたが、私の考へでは、其等の歌を見ますとまづ歌詞よりも、歌曲を作る人々が、子供との交渉がない、子供を従つて了解してゐないといふ事をつくづく感じます。

大人が作つた子供らしい節と、子供が自然に歌ふ節とは大分異つてゐるやうに思はれます。子供らしい氣分の出ない大人が、作曲いたしますと、子供が知らぬ間にうたひ出した節とは、どうしても同一のものが出来る事はないのであります。子供の歌を餘りに暗示的に考へ過ぎた人は、大人びた曲を作つてしまひます子供の歌の歌詞を見るとき、大人がつくつたのでなければ、子供自身の歌、歌と云ふよりは、寧ろ言葉で話してゐる位のものでありますから、作曲もその積りでやらなければなりません。

作曲は専門の音樂家でなければ出来ないものであるかのやうに考へてゐる人々もありますが、子供の

歌が子供の日常話してゐる言葉と左程ちがはないものでありますから、作曲もさうむづかしいものでなくともよいのであります。子供の歌の歌詞とか歌曲は、子供に接する事の多い人々が作らなければ、眞の物は出来なからうと思ひます。幼稚園、小學校の先生方とか、家庭のお母さん方とかが、一番適任者ではなからうかと思ひます。

此處に作曲者が十人あつて、十曲を作つたとしませう、その中では子供の眞の歌の節がどれだけ出来たか、あやしいものであります。昔から傳つて來た在來の日本の歌でも、何時誰が作つたか、といふ事が解らないものが多いのであります。今の音樂家達が名曲と稱してゐるものも、色々の時代に色々の人によつて作曲されたものが、自然とよいものだけ残つたのであります。それですから、音樂家、専門家ばかりでなく、皆で一般的に試みるのがよろしいのです。

子供の歌は實際の言葉をとるため、やゝもする事野卑な言葉が用ひられてゐる事がありますが、節の方になりますと、言葉があつてそれに作曲されるものでありますから、歌詞の方さへ注意すれば、歌曲が下品になる事はないのであります。歌の言葉には無干渉でも、歌曲そのものが、子供らしいものであれば、子供自身も喜んで歌ひますし歌曲の價値も充分な事と思ひます。それ故、歌詞も歌曲も共にそろつて、眞の意味で子供らしく、立派なものであつたら子供も大いに嬉しがつて歌ふでありますし、音楽をして専門的に考へてすぐれてゐるものであります。

大人の歌ふ子供らしい歌と、子供の歌ふ子供の歌とは、區別がはつきり解るものであります。眞に子供として尊いのは、子供が無意識のうちに、餘念なく遊び戯れてゐる間に、自然と口から出た言葉と節とであります。子供と没交渉な専門家が苦心して作つたものではないのであります。それ故子供以外の人が子供の歌を作る事はなか／＼出來にくいものであります。そのうちでも子供に接し子供を了解してゐる人々の方が比較的よい歌が作れるだらうと云ふ事にござまるのであります。

野卑な言葉が用ひられてゐる事がありますが、節の方になりますと、言葉があつてそれに作曲されるものでありますから、歌詞の方さへ注意すれば、歌曲が下品になる事はないのであります。歌の言葉には無干渉でも、歌曲そのものが、子供らしいものであれば、子供自身も喜んで歌ひますし歌曲の價値も充分な事と思ひます。それ故、歌詞も歌曲も共にそろつて、眞の意味で子供らしく、立派なものであつたら子供も大いに嬉しがつて歌ふでありますし、音楽をして専門的に考へてすぐれてゐるものであります。

幼稚園の唱歌科の實際教授の事はひろく見ませんから、よく解らないのですが、どうも私は子供等に唱歌を強制してゐるやうに見えます。唱ふ時にも大聲でがん／＼歌つてゐるのを聞きます。歌は、通常人と話をする時位の聲を少し大きくする程度が、自然でもあり、美しく聞えます。この點はよく注意して頂きたいと思ひます。

つまり私の考として、以上述べました理由から、子供の歌の作曲作歌は、音樂家専門の仕事ではなくして、子供を了解する事の多い人々に依つて、なさるべきものであると思ひます。未來の童謡は、子供自身をのぞいては、家庭のお母さん、幼稚園、小學校の先生方に依つて盛んに作らるべきものであります。それと同時に、子供の歌の歌ひ方等も、もう一步研究をすゝめて、自然に子供らしく歌ふやうにされなければならぬと思ひます。

近頃、音樂教育が一般に普及されました結果、幼稚園の先生方でも、新しい教育を受けられたお母さん達でも、音樂に對しては相當に趣味と理解とを有して居られる事と思ひます。それでさう云ふ方々が、奮發して作曲されたなら、大變喜ばしい事と思ひます。

贊育會の近況

理事 医學士 河 田 茂

私共贊育會が、母體保護、幼兒保護の事業にあたる爲め、大正七年三月本所區太平町に妊娠乳兒相談所を開始し、其後大正八年八月同區柳島梅森町に本所産院を新築して此處に移轉しましてから、三年の月日を経過しました。近頃の贊育會の状態を一寸お話して見ようかと思ひます。

贊育會の事業として致して居ります事は、産婦の無料入院助産、無料往診助産、妊娠相談所、乳兒相談所、幼兒晝間保育、乳兒相談所などあります。

今此處に大正九年度の事業報告をあげて見ます。

産院の方では、入院患者は百七十六名で、これを延員に致しますと、千六百二十八名あります。平均一人の入院日數は九日強に當つて居ります。助産數は二百九名、内入院してお産をしましたものが六十二名、往診によるものが四十七名あります。入院患者の數が入院助産數より多いのは、產前產後の病氣の爲め入院した者があるからであります。これ等の

内には珍しい難產のものもありまして、自宅にては助からなかつたらうと思はれる様なものもありました。私共の働きによつて、一年に一人でも二人でも生命が助かるならば満足に思ひます。

妊娠乳兒相談所は、外來診察は毎夕（日曜、祭日の外）午後五時から七時まで受付けて居ります。

來患者は、二千百九十二名で其内小兒は一千百四名で、婦人は一千八十八名であります。再來患者は五千八百六名で、其内小兒は二千九百三十名、婦人は二千八百七十六名であります。外來診察患者の延人員は七千九百九十八名で、一日平均二十五名あります。投藥數は九千八十一枚で、一日平均二十九名であります。藥は二日乃至三日分宛を、水散兩種與へたものもありますから、二萬日以上分の施藥をいた事になります。

保育所に就ては、夫婦共稼ぎせなければならぬ労働者の手足纏ひとなる幼兒の晝間保育をいたして居

りますが其延人員は九千五百十二名、其内男兒は六千十四名で、女兒は三千四百九十八名であります。一日の平均は三十三名許に當ります。三月に私共手を離れて小學校に送られた者が十八名あります。

大正十年になつてから、極く最近の狀態を述べますれば、五月には、入院患者が十七名、延人員一六四名、助產は入院十六名、往診二名、外來は小兒七十二名、婦人は九十名、延人員六百六十九名、保育小兒(延)八百十四名、六月には入院患者十七名、延日數は百三十六、助產入院十五、往診二、外來(新)は小兒五十八、婦人八十六、延人員六百七十三、保育小兒(延)七百二十六、七月には、入院患者二十七名、延人員二百四十四、入院二十七、往診二、外來(新)小兒五十八、婦人は八十六、延人員は六百五、保育小兒(延)六百十一名であります。

本所產院に設けられてある乳兒室は、都合により今迄使用する運びに至りませんでしたが、今度定員八名迄、一歳未満の乳兒を預る計劃となり、去る九月二十日より始めました。東京府から本事業の爲めに、金一千圓を補助せられる筈であります。母親の死亡、又は病氣の爲め、孤兒院へ送るほどでもない嬰

児を取敢ず預つて呉れる乳兒晝夜保育所は、東京にて最も必要な事業であります。皆様の御同情なる金員の御寄附を仰いで、完全に發達することの出來るやうに御願ひ致します。心強いのは、小兒科の三輪博士がこの事業の顧問になつて居られます。この外に產院の方は、濱町產科婦人科病院の木下正中博士が顧問になつて居られます。

本所區は淺草に次いで、人口の多い區でありまして、工場労働者も澤山居住して居ります。本會の事業に對して工場主の贊助を得たいと思つて居りますが、中々其の方面に運動を起すやうになりません。然し努力して事業を經營してさへ居れば、その中に事業の内容も追々に了解され、援助されることが出来るだらうと信じて、一生懸命仕事をして居ります。

本所邊の労働者階級の多く住してゐる所に、私共贊育會の事業が設けられて居りますのは、場所を得たものと喜んで居ります。低地のじめしめしたところや、煙突の煙がうす暗く空を覆ふところに、毎日毎日の労働に追はれて、多忙な不健康な生活をしてゐる婦人達や子供等が澤山あります。其の人々の爲に、安心して衛生的にお産が出来、そして生れた子供らにも、安心して衛生的な保育をすることが出来るやうにしたのですから、其の喜びも多い事と思つて居ります。

三崎會館托兒所

主任 保坂比露子

三崎會館には、児童に關する設備としては、託兒所、幼稚園、兒童遊園、夏期學校とありますて、其他に社會事業として、女中教養所及び徒弟教養所が御座います。

託兒所は大正五年九月十日に設立されましたもので、最初は十三名の児童しか通つて居りませんでしたが、近頃は三十九名の児童が通つて居ります。保姆三名で擔任して居ります。毎日朝七時から、夕五時半までこし、一日託兒代二錢とおやつ代二錢、總計四錢の費用を子供達に持參させて居ります。お晝飯過ぎには西洋の習慣に従つて、必ずお晝寝をさせる事に致して居りますが、お晝寝は子供自身にこつても身心を休めて大變結構でござりますし、保姆達にこりましても、一日一寸の油斷もせずに危い子供等につきそふて居りますから、身心の疲勞も多うございますから、子供の晝寝の時間には、矢張り保姆も休養いたします。西洋の方々は、保姆達の休養と

いふ事を大層重んじます。休養しなければ、いつもにこやかにして快活に、子供等の相手をする事が中むづかしうございます。

毎年の傾向でございますが、特に今年は甚だしいと思つて居りますのは、託兒所に通ふ子供等がどうも低能に近いやうな子供が多くて困ります。此處は神田でござりますから、本所深川邊のやうに、労働者階級の子供達が來るのがありませんで、此の邊に住んでゐる中流階級の子供達でございます。しかし母親が一日子供の相手をして居る事が出來ない人々でありますから、父親が飲酒家で餘り家庭の事情がよくないとか、或は母親一人であるとか、又母親がタイピストであつたり、小學校の先生であつたりする人々の子供が多うございます。“それにしても、幼稚園に通學して來る子供達とは、毎年段違ひに託兒所の子供の性質なり健康状態なりが劣つて居りますので、私共は大いに研究しなければならないと存じ

て居ります。

託児所に附屬して、母の會といふのが、毎月一回づゝ催されます。これは託児所に集つてゐる母親達の會であります。書催されるこもあれば、又時としては皆の都合で夜催されることもあります。守らなければならぬ義務として獎勵してゐます。せいか大抵二十五六名は必ず集ります。三十分精神修養として、聖書をよみ、祈禱をさゝげて、時々は立派な先生方をお招きして、衛生講話等をして頂く事もあります。その後は親しい茶話會に致します。この會は、家庭の向上の爲め、又私共、家庭との連絡をとる上に、大層よい機關になつて居ります。

幼稚園は「愛の園」と云ふ名で知られて居りますが、こちらの教會に居られました神學博士アツキスリング氏夫妻に依りて始められたのであります。只今アツキスリング氏夫妻は米國に歸つて居りますので、ミス・クロスビーが其の代理となつて居ります。只今七十名程の男女の兒童が居りまして、保姆四人を以て教へて居ります。幼稚園は半日であります。月一圓の月謝（入園料は五十錢）で致して居り

ます。唱歌、遊戯、談話等、總て幼稚園で行ふことは皆して居ります。

児童遊園を申しますのは神田邊は商業地で混雜した町で、児童の遊び場等がありませんから、小學校生徒に放課後の遊び場を與へて居るわけで午後三時から五時まで、屋上庭園（七間に十間の廣さ）を開放致して居ります。これも二三十名づゝ毎日遊びに来て居りまして、監督の先生がついて居りますから、決して危険な事はありません。

夏期學校は、八月一ヶ月間五十錢の月謝で催されるのであります。夏避暑の出來ない子達の爲めに此處を遊び場として、暑中を楽しく過させる事にして居ります。精神修養になるお話を聞かせたり、手藝を教へたりします。

女中教養所と徒弟教養所とは、より以上の學業を治める事の出來ない少年少女達の爲めの夜學校であります。

徒弟教養所は、夜七時から九時までやあつて、讀書算を主として教へ、精神修養の講話をします。此處に通學して來ます少年達は、十二三名あります。魚屋とか豆腐屋とか、或は用達をしてゐる者など

ありまして、商店の小僧らしい、きちんとした角帶の連中の見えないのは、ちよつと不思議であります。が、近頃は商店等の店員は學問が相當に有りますし、神田邊の大商店では、夜學にわざ／＼先生を雇つてしてゐる所さへありますから、そんな關係だらうと存じて居ります。皆は實に熱心に勉強して居ります。

又女中教養所は、大正七年二月七日に始められたものであります。火、水、木、金の四日、夜七時から九時半まで教授して居ります。火曜は學科で、一の組は尋常四五年生の程度であり、二の組は實科高等女學校の程度で、珠算、作文、讀書、習字、衛生等を教へます。水曜は、精神修養と、裁縫、木曜も裁縫、金曜は裁物の實地及び理論を教へます。裁縫と看護法には、常に力を入れて置きまして、裁縫も袴やコート位はこにかく縫へるやうにし、看護法では體溫表のつけ方、吸込のかけ方位は充分出来るやうに教へます。

只今女中教養所に通學してゐます者は、在籍者は二十名ありますが、通學生は十二三名であります。私共四人先生が居りまして、各科を分擔して教へて居りますが、年齢が一定しませんのと、出席が一定

しませんのと、大いに教授上の困難を感じます。年は十六位から二十三歳位までがとまりでございまが、十六位のは學校に通學した經驗から、未だ學問を忘れてゐませんから、大層進みが早うございますが、年上になるにつれ學校の氣がぬけてどうもうまくゆきません。其の上、今日は奥さんが病氣で休むとか、今晚は來客で來られませんとか、色々の差しつかへがあつて、缺席がちな者はどん／＼遅れますから、まるで三人四人と、個人教授のやうな具合に致します。けれども皆熱心でありますから、なんとかして連續させて行きたいと存じて居ります。近頃の女中さんは、徒弟と違ひまして、十圓十五圓の月給はもらつてゐますので、却て獎勵にもならうかと、五十錢の月謝をとつて居ります。この夜學校は二ヶ年修業であります。既に四五名の卒業生を出して居ります。

以上述べました事業が、私共三崎會館に於て行はれて居ります。こちらは、基督教主義でありますので、信者の家庭又は宗教に同情ある人の家庭から、此處へ出入して居ります。精神修養として、聖書をよみ、祈禱をするのを習ごして居りますので未だ基督教に理解のない方々がありますが、ため私共の盡力もひろく及ばず殘念に感じて居ります。

古川橋保育所について

保 姨 津 久 井 こ し 子
勝 又 妙 子

朝は早い幼兒は六時半頃から、多くは七時から八時、九時頃登所する者も御座います。

小さい子供達は皆送られて、六七歳になると一人で喜びに満ちた明るい元氣な顔付きをして参ります。兄弟で打連れて兄さんや姉さんが弟や妹の手を引いて嬉しさうに来る者も御座います。これが幼兒の本當の自然の愛で御座いませう。誠に美しいもので御座います。此の愛らしい幼兒を皆が優しく迎へて、髪の亂れてゐる者には結んでやります。朝は顔を綺麗にお洗ひなさいと云ひますがまだ汚れて居る者が随分ありますから洗つてやることに致してをります。一人で洗へる者には洗面器を出してやりますと町寧に洗ひます。誠に可愛もので御座います。

九時になりますと一同は集つて唱歌を歌つたり又は二三の遊戯をやつたり致します。それが済みますと年齢の大きい組は二階の保育室で、小さい組は階下の保育室で訓話やお伽噺話を致します此の間に著物の綻や爪の延やなどを調べて置きます。それが済みますのは大抵十時頃になります。

十時から十一時迄は自由遊で御座います。此の間に爪を切つてやつたり綻を縫つてやつたり致します。此の自由遊の間には幼兒同志の紛争や衝突などの調停、階段上下の危険の見張等で絶へず眼を八方に配つて注意致さなければなりません。然し今日迄大きい怪我のなかつた事は誠に幸に存するもので御座います。

十一時にお室へ這入り手技をして幼兒に考案をさせます。時には幼兒に相應な丁度適當したものを考えへさせることも御座います。鼻汁は常に拭ふてやりますが時々特に出てゐるかどうかを檢べて拭ふてやります。そして皆んな残らず手を清らかな水で洗つてやりお室へ入れて能く落着かせてからお晝の辨

當を開かせます早く終る時と遅くなる時とが御座いますが十二時半頃迄には大抵は済みます。食後の始末をつけて午後一時半迄はお書き込みとして自由な遊びを致させます。トラホーム治療をなしお書き寝を致します者はさせることにして居ります。午後三時頃迄には遅く寝た者でも起きます。それから各組々によつてお室に入れて幼児の好むことを夫々勝手に致します。又大きいのと小さいのを一緒に集めて共同遊戯のお面白い遊びを致すことも御坐います。

三時半になりますとお書きの辨當の時と同じ様に準備をお八つを頂かせます。毎日のお八つも色々と考へてみたり調べてみたりして可成低廉で而かも子供の嬉ぶ様なそうして胃腸を損ねない様な物を中心配致して居るので御座います。お八つが済みますと身仕度をして歸宅の用意を整へさせお室に連れて参ります。そうして今日致しました事や又翌日やることに就ての注意や其の他の事を懇にお話して聞かれます。これが済みますと歸宅致させることになります。家庭によつては母なり姉なり又は其他の者が迎へに來るものがありますが又勞働時間の都合で後に殘る幼兒も御座います。大抵は六時頃迄には歸つ

て行きます。幼児連は待ちに待つた慕ひに慕て居つた親達や兄姉のお迎へに嬉びの笑みに溢れて自然と手を振り足を躍らせて縋つて行く有様は迎への人達をどんなに嬉ばせることでせう。此の様な有様を見ては其の親兄姉の愛情を以て幼児を保育し度いもの又此の大任を全うせねばならぬものと考へぬ譯には參りません。さりとて至らぬ私達は思ふ様にお互に話ををして親達に充分の満足を與へることが出来ないのを非常に殘念に思つてゐるもので御座います。私達が幼児の保育に携つてゐますと日々子供から教へられる事がたくさんあります。本當に幼児は私達の先生の様なものです。保育をやつてをります私達よりも遙に先生です。私達は保姆の使命の實に重いことを感せばには居られません。何時になつたら此の責任を果すことが出来るので御座いませうか此の様に考へますと身の至らぬことを啻に恐縮するの外はありません。然し日々子供から受ける多くの慰みと天真な務めとに、身體の疲れも忘れて毎日變りなく努力を續けて居ります。誠に興味の多い此の務に目醒める毎日の努力を感謝するもので御座います。

東京感化院の此頃

主事土田行學

青い秋の空晴れて、子供等は運動會に遠足會に楽しい時を送つて居る頃、不良少年とか云ふいとふべき名をさせられて、華かな子供の世界から、離されてゐる少年達があります。彼等は秋の月眺めながら日一日より善い方に進んで行かうと志して居ります。

只今三十名程の少年達が居ります。年齢は八歳から十八歳まであります。八歳以下の子供達でも、將來かう云ふ所に来るやうな悲しむべき傾向をもつたのもあります。學齡前は子供の教育は全く家庭の母の手にあるべきものであらうと云ふ事から、餘り幼い子達は来て居りません。

此處に少年達が連れて来られますと、先づ命名式を行ひまして、今までの名を互ひに呼ばせず、新しい名を與へるのであります。それは子供の將來を考へてする事であります例へば加藤太郎といふ子供がありますなら、加藤の「加」だけをとつて、更にその

子供の弱點を矯正する爲に、正直といふやうな名を與へてやります。そして院内に居る間は、加正直さん等と呼んでやるのです。さうすると、正直さんと云はれる子は一生懸命正直しなければならぬ事を、自分の名を呼ばれる爲に思ひ出すのです。

毎日是等の少年達は何をして居るのであらうか、と思はれるでせう。彼等は中々有益な日を送つて居ります。毎朝五時半起牀、七時に朝食、七時半には克化殿と云ふ室で禮拜式が行はれます。此の感化院は日蓮宗でありますから、其の主義で禮拜式が行はれ、日蓮宗のお經を朗み、「立ち渡る身の浮き雲も晴れぬべし、絶えぬみ法の鷺の嵐」と云ふ、日蓮上人の御歌に、曲をつけて合唱します。八時から十二時迄授業があつて、甲(中學部)乙(高等小學部)丙(尋常五年以上)丁(尋常三年以下)の部に別れ、それぐ適當の學科を教授します。午後一時から三時までは、労働として主として園藝をさせ、弓術、自修等をさ

せてゐます。三時から四時半までは自由行動として置きます。

其他謡曲と茶湯とを當院に於て少年達にさせて居ります。謡曲は日曜の午前と水曜の午後とにあります。が、謡曲を選んだわけは、文章そのものが美しく、また舞が優美で、かつ謡曲をする時の姿勢が正しく落ついてゐるので、優美にやさしいものとか、心をおちつけるものとかは、心の動搖のはげしいかう云ふ少年達には殊によろしいのであります。茶湯は火曜午後にさづけてあります。之も心をおちつかせ、優美にする爲めであります。

一年も院内に居りますれば、もう性質も善良になります。大抵將來成功しそうになるのですが、この一年間が最も大事なのであります。「感化院」と云ふ名を聞かされ、門をくつて来ると、どんなに恐ろしい所だらうと、さすがの少年達も恐怖するのですが、さあ這入つて見れば、鬼のやうな人もなく、先生達も割に自由であり、規則正しい生活をさせられるので、少々あてがはづれてくる、さうするご淺草の活動寫真に遊んだ時の頃が、樂しくなつて来て、どうにも飛び出したいと思ふのです。こんな時に私共が、

もうそろ／＼買物に出してもよからうと、外出させることのまゝ何處かへ行つてしまふ事もあります。

この感化院が設立された當時の明治の三十年頃は感化院に来る少年達といふと大抵家庭が主なる原因であります。例へば、繼母があつて折合がうまくゆかない、といふのが多くありました。しかし近頃では、物質文明の悪い影響を受けたのも澤山あります。これは活動寫眞、悪い新聞雑誌の愛讀者が、大變影響するやうです。例へば、活動寫眞で忍術をして、子供が色々姿をかくして面白い事をして遊ぶ等といふ事を見ますと、自分もしたくて仕方がない、眞似をしだすと云ふ事になります。又新聞の三面等で、夏には各地の避暑地、温泉湯で、富豪貴族の令嬢、令息が、華美な生活をしてゐる、などといふ事を読みますと、つひ其處へ遊びにゆきたくなつて親の金錢をぬすみ出して逃げる、などと云ふ事をします。又近頃院内に來ましたのに、父親に反抗して所謂不良少年になつたのもありました。父親といふのは、社會に於て立派な地位の人であります。が、品行のをさまらぬ、豪奢な生活をしてゐる人で、何かについて新聞雑誌がその人の私的生活を面白半分に書き立

てるのですから、子供等が學校へ行つて、「あなたのお父さんの事が何に新聞に載つてゐましたよ」、等と云はれる事、とても友達の間にはづかしくて仕方がない、女の子ならひそかに不平を云つてゐる所ですが、男の子になると反抗心が起つて、「己もお父さんになんぞに負けずに悪い事してやるぞ」、など、云つて心の苦悶やり方なく活動寫眞に入り飲食店に入つたのが、次第に其の方面的快樂も味ふ事が出来てその儘になり果てたものもあります。

毎月十六日には、生徒の平素の品行調査が行はれまして、成績のよいものには、一等から十二等までの階級に分ち、一等から七等までを待遇生となし、七等以下を普通生として、待遇生には日曜毎に十錢、普通生には七錢づゝを、小使としては興へて居りますが、是等のお金を一まとめにして何かお菓子でも買ひにやる役にあたつて外出しますと、お金をみると發作が起つてその儘ふつて何處へか逃げてしまふ、と云ふ事も起りますので、中々安心が出来ません。私共はこの方法ですつかり善良になつたかどうかを試験して居ります。

院内の娛樂としては、上品な茶話會、討論會、講

談會院外のものとしては遠足會、郊外散策會等開催して、かふ云ふ打とけた折に於ては、少年等は赤裸裸な言語動作を表すものでありますから、かうした折に少年の心理状態をためすことが出来ます。この六月から、「觀花園」と名づくる雑誌を發行し、作文習字圖書等を掲載しました。一體に此處へ来る少年達は音楽圖書等には秀でますから中々面白いものがあります。

此處を退院しましてから、眞面目な人間として社會に活動してゐるものも多くあります。此處へ入院するものは、十五圓から二十圓迄の入院料を要するのであります、只今三十人の中三分の一しかこの入院料を拂はずに、あとは半分支拂と救養とになります。

私共が毎年のやうに入院していく少年達を見ますと、「感化院」と云ふ世の人々から特別の眼を以て見られる所へ來ない中に、幾らも母親の注意で救ふ事が出來たものと思ふのが澤山あります。十四になりました十五になつて、急に其年から性質に變化が來た等と云ふのではなく、知らずくの中に色々の事情から入院しなければならなくなるのを見ます。幼児の教育が如何に子供の一生を支配するかを思ふと、實に／＼恐ろしい氣が致します。

幼兒保護事業（二）

日暮期講習會に於ける筆記大要

内務省嘱託 小澤

（三）児童死亡率低減の條件

一 健康狀態、氣候、習慣及び工業は大に西歐羅巴に於ける普通の狀態と異なる。故に嬰兒及び児童死亡の問題も稍々その性質を異にする。最近迄米國の人には大部分地方的であつた。然し都市及工業中心地の發達及び賃金生活者階級の増加に依つて新たな狀態が發展した。是等の狀態に依り児童死亡の上に種々な問題が考察さる。

都部對都市児童死亡の比較 幼兒死亡率に於ての第一の特徴たる相異は都部と都市の死亡率の差異である。此の相異は必然的に固有のものではないが、或る時代の間は、斯る傾向を免れぬ。米國都市の發達は極めて急劇で人口一萬以上の都市が今や米國全人口の八分の三以上を占む。從つて児童の數が間断なく増加し是が都市の健康狀態に取つて問題となつ

た。都會生活は極めて重大な殆んど打勝ち難い幾多の不便に依つて悩まされる。そうして是等の理由の爲に都市の死亡率は絶望に見えた。都會に來る児童は人口過剩に依つて苦まねばならぬ。煤煙や塵芥が絶えず都會の上を覆ひ空氣を汚す。

そうして無數な有害原因が永久に人間の生命を破壊せんとする。児童も亦明るさ及び日光の不充分なる爲め苦しむのであるが、新鮮な空氣の缺乏が恐らく都市の主要な缺點である。自然の治療力が健得到有效なることは周知の事であるが、都市の児童に對してはこれが充分供給されぬ。

疾病傳染の危険は都部よりも都市が極めて大である。交通遮斷及び隔離方法を以てその差異を除き得ない。數百の児童が都市の學校に集合し、疾病は児童の間に容易に傳播する。都市は病菌に潜伏の好機を與へ、汚穢や貧窮が直ぐ様病氣の犠牲を作る。

合衆國の統計に依ればデフテリア、猩紅熱、天然痘及下痢疾患等の児童病は都市の方が他よりも極めて多い。都市の児童が蒙る他の損失は食料が輸入供給に頼つて居ることで、是が健康の低下を來す。殊に牛乳がそうであつて、その結果或る種の下痢疾患が直接原因となり年々數千の児童が死亡する。種々の傳染疾患は時々牛乳供給がこれを傳染せしめる。そして果實、野菜、鶏卵及肉類も市内の消費者の手に入る迄に往々一部は品質を害ふ。都市の悪水は數千の人に対する危険の原因である。故に都會生活は次の如き三つの主要な點に於て田舎生活に劣る。第一都市に於ては新鮮の空氣、日光及健全な戸外生活が不充分である。第二、傳染病は普通で防止が容易でない。第三、都市にて消費される飲食物は比較的有害である。

都市と田舎との統計的相異が次の米國に於ける死亡表により簡単に示される。左表は特殊の疾病に對し都市と田舎と比較して人口千萬に對する死亡の割合を示す。

臍記地域に於ける死亡率(人口十萬
に對し)(一九一二)

	疾	病	疹	臍記都市	臍記州の郡部
麻					
猩	百	日	一〇・二	九・七	
紅	咳	一一・二			
熱			一一・八		
	百	日	一〇・九		
	咳			六・〇	
チ	百	日	一一・二		
フ	咳				
テ	猩				
リ	紅				
ヤ	熱				
及					
義膜性喉炎	二一・九				
下痢疾患(二歳以下)	二五・一				
先天的虛弱及畸形	五五・八				
先天的虛弱及畸形	九五・三				
先天的虛弱及畸形	八五・二				
先天的虛弱及畸形	七一・七				

上の統計は國勢調査局の調査であつて年齢別になつて居ない。従つて主なる児童疾患を選み死亡率を比較する。百日咳及麻疹を除いては、田舎と都市の比例の間に大なる相異があることが明かである。都市は下痢疾患に於ては七五パーセント高く猩紅熱では殆んど九〇パーセントと高く、デフテリアでは四五パーセント又先天的虛弱では一九パーセント高い。是等の事實は明かに田舎の児童は疾病から免かるゝことに於て都市の児童よりも大なる便宜をなす事が明かである。加之児童疾病に因る死

亡率の最も低いのは大部分田舎である州の報告である。且つ歐洲の統計が是等の結論を確實にする。

白人と黒人社會的狀態等

黒人と白人の子供の死亡率には著しい相異がある。此の差異は極めて大なるもので、是が黒人種に取つて至極重大な問題である。一九〇〇年の米國聯邦統計は黒人児童の死亡は白人の倍であり、都市に於て五歳以下の児童の八分の三は規則正しく死せることを示した。然し田舎に於ては其割合は三分の一低く東歐の白人の間の死亡率より少い。一九一一年の統計は黒人の一般死亡率は千人に對し一二三・七に下つたが尙ほ白人よりも七三・一セント高い。黒人児童の過度な死亡率の内可成大なる部分は彼等の生活する不幸な且つ陰鬱な家庭と兩親の無智に原因することは明かである。

社會的立産業的狀態の良否による相異については勿論貧困が有力な要素であるが、この相異は大體児童に對する賢い看護と放任との違による。貧民地域及工場中心地の幼兒死亡率は都市の他の部分に於けるよりも殆んど不變的に大きい。著しい例外としては猶太人の子供は貧民窟や殆んど堪へ得ない状態の

生活にも拘らずその死亡率は低い。

工業都市は児童生活に有害な状態を作り勝ちである。多數の結婚婦人が傭使せられ、是が彼等が児童に用ひ得る注意の程度に大に影響する。

新英國の大工場都市は其の著しい例である。多くの外人が製造場に入つた。婦人が多數工場に使用され、從つて多くの子供が放任される。マサチューセツツに於ける工業中心地即ちボール、リバーの如く長屋が普通である處の幼兒死亡は住宅都市の二倍以上である。混合狀態の都市は釣合つた死亡率を示す。貧民窟の慘状は周知の事であり、都市の貧民地域は環境のため過多の幼兒死亡に苦しめらる。勞働階級は給料生活者及職業階級よりも多く高率な幼兒死亡によりて悩まされる。富者階級に幼兒死亡率の低い主な原因是その児童に對し正しい方法で看護することが大に可能な爲めである。且つ環境の状態は凡て優れて居る。

住居良く、食物は適當し、醫師は常に得られ、周到な注意がなされ、且つ疾病に對しては有效に治療し得る。人々の知識が進み無學者が割合少ない處では幼兒の豫防し得らるゝ疾病を速かに取繰り得るや

うになりつゝある。

私生兒は莫大な死亡率を示す。これは通常公生兒死亡率の約二倍である。此の相異は一部は多くの父の無い赤子が劣つた施設に於て保護さるゝ事と一部は母の無智若くは放任並嬰兒の扶養上通常僅かの保護をしか有せぬ事實に基因する。

死亡幼兒の著しい割合が出生後三ヶ月以内で死す例之、一九〇九年英國で幼兒死亡の五五・一パーセントは此の時期に起つた。生後一ヶ月内の死亡は明かに生後一ヶ月間に於ける爾餘の期間内に於ける死亡の八倍である。更に驚くべき事は英國の統計は產兒の二・四パーセントは生後一週間内に死す事を示す。一歳以内の死亡の殆んど一〇パーセントは第一日に起る。約言すれば幼兒死亡は第一週中が甚高率で、三ヶ月迄は依然高いが爾後月々次第に低下す。然し歐米の或る都市では第一年の終りに向つて再び死亡率が高まる。是は赤子をして乳を離し、牛乳又は他の人工食料の使用が増加する爲である。女兒百人に對し男子約百六人が生れる。此の超過に對し男性乳兒の死亡率が高く、五ヶ月の間繼續する事によつて差引となる。女子の抵抗力は男子よりも稍々大なるや

うに考へられるが然しその理由は充分明かでない。幼兒死亡の低減、此問題の主要さは幼兒死亡の實狀と防止可能の程度との相異に依りて測られる。幼兒死亡の低減には一つの限界がある。若しこれ以下に低減すれば其結果は兒童期を通じ死亡率が増加するか若くは體格薄弱の爲め若死する男女成年者を多くする許りである。幼兒死亡率は全死亡の内で断へず低減しつゝある是は以前よりも多くの幼兒が救はれそうしてこれに比して成年者の成績が劣るからである。現在の問題は幼兒の死亡を文化の力で出來得る最低限度に減することである。合理的な病牀保護はまだ現今到達し得る處からは遙かに遠い距離がある。然し或る地域で兒童に對し特別の注意の行はれた經驗の結果は幼兒死亡を著しく低減した。合衆國に於ける變化を示す爲め次に統計を示す。

年齢別に依る兒童死亡率

地 域 及 年 齡	各年齢につき千に對する比	
一九〇〇年に於ける總記	一一一	一九〇〇
一 歲 以 下	一二五・五	一六一・九
三	三	三

一	乃	至	四	歲				
五	歲	以	下					
十	乃	至	九	歲				
五	歲	以	下					
一	歲	以	下					
一	乃	至	四	歲				
五	歲	以	下					
五	乃	至	九	歲				
十	乃	至	十四	歲				
十	乃	至	十四	歲				
一	九	一	年	に	於	ける	勝	記
地	域	の	各	州				

一九〇〇年以降一貫せる進歩が行はれた。十二年間繼續的記録の比較し得る處では幼兒死亡率に於て殆んど四分の一を減じ、五歳以下の死亡は一層急速に減じた。年長兒童に於ても亦著しき進歩をなした。概括的に言へば是等の州の兒童の約八分の一は一歳以下で死す。斯くして著しき生命の救助が成就された。是等の州では概して各都市の間に大なる相異あることは次表の如くである。

各 國	出產千に對する一歳以下死亡の比	
	年	率
英 蘭、威 爾斯	一九〇九	一〇九
新 南 威 爾	一九〇九	九二
普 魯	一九〇八	七四
亞 典 抹 斯	一九〇八	二三
	一六四	八五
	一九〇九	一九〇九
	一九〇八	一九〇八
	一九〇九	一九〇九

各 國	五歳以下の幼児千に對する五歳以下の死亡	
	年	率
英 蘭、威 爾斯	一九〇〇一—一九〇二	五三・五二
新 南 威 爾	一九〇〇一—一九〇二	三七・二二
普 魯	一九〇〇一—一九〇二	三二・五二
亞 典 抹 斯	一八九九一—一九〇一	三八・三一
	一八九九一—一九〇一	三七・四八
	一八九九一—一九〇一	七三・九五

斯る相異の原因の内には確かに氣候より受くる自然の便宜もある。西部及北西部の都市の多くは低率で、それが良氣候と細民人口の少なきことに因る。十年間に殆ど凡て大都市に幼児死亡率の著しき低減を來した。此の改良は是等の都市が幼児死亡低減問題に對して奮闘した努力に因る。或る意味で凡ての幼児の死亡の大なる割合は理論上豫防し得べきである。一歳乃至五歳の兒童死亡の少くも半數は豫防し

た。此の改良は是等の都市が幼児死亡低減問題に對して奮闘した努力に因る。或る意味で凡ての幼児の死亡の大なる割合は理論上豫防し得べきである。一歳乃至五歳の兒童死亡の少くも半數は豫防し

を得る。是等の兒童は體格の薄弱なる爲め生命を破壊するの年齢を通過したのであつて、彼等の死は大抵何れかの状態で社會が彼等を放任して居た事の證據である。これは實に現今の大なる兒童問題の一つを形作るものである。

其の外國の幼児死亡

外國はそれぐり嬰兒其他兒童死亡の割合に於て大に異つて居ること次表の如くである。

セ ン ト ル イ ス	一一三・八	一六〇	三八・三	一六二・四	二四
ロ ス ア ゼ ン ル ス	一〇〇・一	一一・五	三〇・一	一七五・一	四三
ミ ン ナ ボ リ	一〇六・四	九・六	三〇・〇	一〇二・〇	一四

北西歐羅巴及ニーリー サウスウルースに於ける
嬰兒及五歲以下の兒童の死亡率は共に合衆國に於ける
あるそれ等よりも著しく低い。是等の諸國は凡て知識
ある人民を有し、氣候も亦適當である。死亡低減の
組織的努力、母乳獎勵運動、牛乳供給所の設置、牛
乳供給上の改良及婦人雇傭の監督等が此の結果に對
し大に効を奏した、西班牙、佛蘭西及普魯西は米國
の率を超へた。殊に佛國は嬰兒死亡につき著しき注
意を惹起する。露西亞、匈牙利及奥地利は今尙ほ一
般には嬰兒死亡が高率である東歐の狀態を例證す。
若し現今社會上防止不可能の最低死亡が六%なりと
假定し得るならば無用の死亡率が驚くべき割合に達
して居る。歐羅巴の最良部に於てさへ死亡率は此標
準を超ゆること約五〇%である。

朝はまだ早い。とある家の前で、はき掃除してゐた母らしい一婦人が、内から子供の聲に答へて、「あ、買つてあげるよ。學校の先生が買つた方がよいと言ひなさつたら、母さんはどんなにしても買つてあげるよ。」と。その日の生活にもどうかといふ家のよう見うけた。たゞホロリとせざるを得なかつた。(T 子)

少年轻年集唱歌中王將

師講校學樂音子女京東
編共先生滋原葛

諭教學中一第京東
先生貞田梁

官教院習學
先生輔耕松小

ますお花
学校と
友春生
りめ達風徒

兵蓮と箱
葉の
十雪び庭
花夕公星
唉や
爺け園

樂雪愁親私
じだば牛の
いりる子
お家ま犬牛妹
羽さ私梅春

の
衣舟村花
夏蟬だ水金
の
朝ま砲魚

秋の野邊
曾我兄弟
三輪車
加藤清正
大山彦
那須興一
赤とんぼ
お祭

刊白
鹿の水
タシ
ンシ
クシ
鳥

錢拾貳金冊各價定

錢貳金冊各稅郵

大正少年唱歌

第一集

第二集

第三集

刊

第四集

第五集

犬積活鷄ス紀雪梅双一
動ト元六月遊
寫オに遊

猫木眞鶴ア節萬野
鬼玉遊も
鳥たん遊
島べん遊
竹たう山遊
島休人日面

馬み郡立は葵鳥猿星
乳菊わ象お電雁砂場
客土星遊
母様工祭

大軍熊疊あ猿紙日角搗
みら蟹合風

砲艦紙れ戰船樣力き
雞電鯉輪舌切
まつ

り話リ駄蜂計雀車雀
鈴進獨朝齋蠻自記文

のヨン日釜私
音軍樂顏私
カ少雪雲花小
ガ兵な善い
1士牛花太雞

那須興一
赤とんぼ
お祭
新水
天の岩戸
花さか
ふの歌
旅

のさひな
唱
馬歌戯る花猫陽
の
ひ
な
と
蝶
ク
ロ
ース

大正幼年唱歌

第一集

第二集

第三集

かおおおビ私蝶飛さ稚
庭ア行く幼
人草先春
馬形花ノ生風機ら圓
せおブ小かシヤ
ラシヘボン
ンナ

み船コ鯉る玉車花る水
木落腹運林蓄天飛蟲お
舟泥

舟葉掛朝檜機節船聲様

所行發

目丁二町馬傳南區橋京市京東
番九〇八二第京東座口替振

店書黒日

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雑誌たるべく苦心して居ります

母子

幼年
雑誌

童話

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雑誌です

近來子供雑誌や繪本類が非常に多くなつて、既に一二三種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。

單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

八一六(話)川石小電 社モドコ 所行發
區川石小市京東林 地番七十五町林